

【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

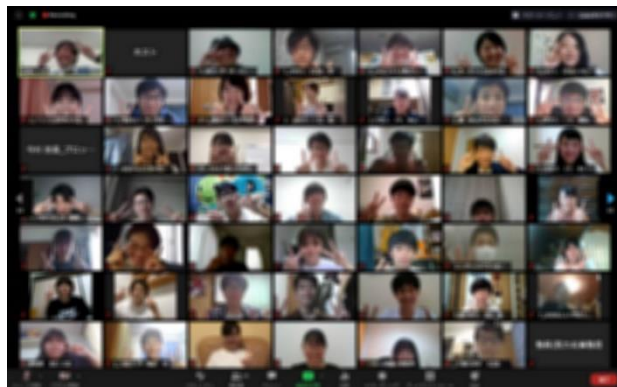
## 開催概要

日程：2020年7月4日(土)

場所：Zoom

## 獲得目標

- ① 大学生協牛乳の歴史から生産者と大学生協が大切に行っている想いを理解する
- ② 学生と職員が連携して取り組む大切さを再確認し、同じ想いを持ってこれからの活動につなげていく
- ③ いろんな視点を持つことでさまざまな組合員の現状に合わせて取り組めるようになる



## 参加者（カッコ内は人数）

富山大(2)、同志社今出川(1)、府医大(2)、龍谷大深草(3)、京教大(2)、京工織(1)、奈良教(1)、近畿大(2)、大経大(4)、阪電通(2)、大阪大(2)、大教大(1)、和歌山(1)、阪市大(1)、関学大(4)、兵庫県大(3)、親和女(2)、連合会(15)、大山乳業(1)

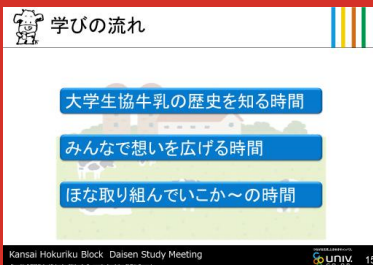
計17会員50名

# 00 開会式

## 大山学習会になっても変わらない想い！

現在の情勢から大学生協店舗をまだ利用したことがないという人も多いので大学生協の魅力伝えていくことが大事であることを確認しました！

また、例年行っている大山訪問研修はウイルス蔓延防止の観点から中止になったものの今回このように「大山学習会」を実施することができ取り組みに関する想いが変わらないことを確認しました！



今回の学習会には北は富山大学生協、南は和歌山大学生協まで、階層も1回生から4回生まで幅広い参加者が集まりました！

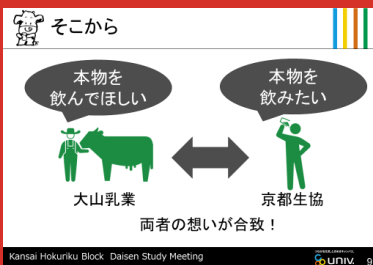
# 01 大学生協牛乳の歴史を知る時間

## 歴史から知る産地直結への想い！

まずは産地直結について学び、次に大学生協牛乳の中身が大山乳業の牛乳になった歴史から大学生協と大山乳業の両者の想いを考え、産地直結の良さを考えあいました！またその中で声を上げることも大切さも学びました！

実際に大山乳業の生産者さんからのメッセージ動画も見てそれに対しチャットでコメントすることで新しい形で産地直結を感じることもできました！

ここで学び考えた学びを次は組合員に伝えていきましょう！



大学生協牛乳をただ勧めるのではなく、歴史や背景、よさを伝えたいと思った。(京教大・1回)

# 02 みんなで想いを 広げる時間

これまでの取り組みからみんなで学びあい！

この時間では、企画1を聞いて周りの組合員に広げたいと思った産直のよさや想いをこれからどのように広げていくのかを考えるために、各会員生協のこれまでの取り組みを紹介していきました。すべてに共通していたのは伝えたい想いをもち、それに対し「学生の視点」と「職員さんの経験」が合わさると活動の幅が広がり、より多くの組合員に想いが伝わっていくということです。学生と職員が同じ想いを持って取り組みに関わっていくことで自分も含めた組合員の生活がよりよくなっていくことをみんなで学ぶことができました。

# 03 ほな取り組んで いこか～の時間

学生と職員で共に様々な視点で取り組んでいこう！

大学生協牛乳の良さを自大学の組合員に広めるためにも、しっかりと組合員の現状と理想を健康・新学期・運営参加・消費者教育・食育などの様々な視点から見つめ直したうえで取り組みを考えました。

また、取り組みを考える際は自分たちの強みやこれまで行ってきたことを振り返りながらどんなことができるか、どんなことをやっていきたいかを考えました。

そして、考えた取り組みを学生委員会だけでなく職員さんや周りの組合員と共に行っていくためにどんな準備をしておくかをみんなで考えました！

今後大学生協全体で取り組んでいきましょう！！

# +A 全体を通して

## 改めて感じた今後も継続していきたい関係

大学生協と大山乳業が大事にしている産地直結の関係とはお互いに顔が見える関係です。その一つとして例年大山訪問研修を行っていますが、今年はオンラインでの学習会の実施になりました。新しい形での開催で考える機会が例年よりも多く、産地直結の関係が今後も継続していきたい関係であることをみんなで再認識できました！

また、企画1で実際の生産者さんからのメッセージ動画を見てこのような状況でも生産者さんのこだわりを聞くことができたとともに実際に生産者さんと交流したい、もっと大山乳業の安心安全な牛乳を生産するための取り組みが知りたいという参加者の声があり、より大学生協牛乳の良さを広げるためにも大山乳業のことを知ることができたと思いました！

今回の学習会を受けて10月に予定されている大山フェアなどに向けて、大学生協牛乳の良さを広げる準備をしましょう！



文責：ブロック学生事務局  
大山内局[永江 大内 児島]